

第3回 Web グランプリ Web 人部門 受賞者発表 『Web 人大賞』は麒麟の 橋本 誠一氏が受賞

392社が加盟(2015年10月末現在)する公益社団法人日本アドバタイザーズ協会 Web 広告研究会(所在地:東京都中央区銀座 代表幹事代行:増井 達巳)は、11月16日(月)、第3回 Web グランプリ (<http://award.wab.ne.jp/>)の「Web 人部門」、Web 人大賞以下各賞の受賞者を審査の上、決定いたしました。贈賞式は来る12月3日(木)、八芳園(東京都港区白金台)にて、「第3回 Web グランプリ贈賞式」として開催いたします。

「Web 人大賞」は、有識者で構成されるWeb 人賞選考委員会による審査会、及びWeb 広告研究会幹事会で審議の結果、企業価値の創出にあたり従来のマーケティング手法に加え、デジタルでのブランディング、コミュニケーションを一体化して行うため、大胆な組織改革を行った取り組みが評価されて、麒麟株式会社 取締役常務執行役員 CSV 本部長の橋本 誠一氏が受賞いたしました。この他、審査委員会の審査で「Web 人 of the year」には株式会社講談社 ライツ・メディアビジネス局 局次長 兼 第一事業局 局次長の長崎 亘宏氏、「Web 人賞」には株式会社インフォアクシア 代表取締役の植木 真氏が受賞されました。(次ページに詳細)

Web 人部門は、「人」にフォーカスした賞として、優れた Web サイト、Web プロモーションにとどまらず、広くデジタルマーケティングの原動力となった人物にフォーカスをあて、その方の功績を讃えて表彰しており、前身となる「Web クリエーション・アワード」から数えて今年で第13回目をむかえます。

昨年までの受賞者はこちらからご覧いただけます。

<https://award.wab.ne.jp/winner/gp02w>

【第3回 Web グランプリ贈賞式開催概要】

- 日時 2015年12月3日(木) (贈賞式) 15:00-17:00
(贈賞パーティ) 17:00-19:00
- 場所: 白金台八芳園 〒108-8631 東京都港区白金台1-1-1
<http://www.happo-en.com/access/index.html>
- 参加申込は下記よりご覧ください(贈賞式参加は無料)
https://www.wab.ne.jp/wab_sites/contents/2240

□この件に関するお問合せ

公益社団法人 日本アドバタイザーズ協会 Web 広告研究会
Web グランプリ事務局 受付時間:10:00~17:00<平日のみ>
TEL:03-3543-5855 e-mail:award-info@wab.ne.jp
お問合せフォーム <https://award.wab.ne.jp/inquiry/>

第3回 Web グランプリ Web 人部門 受賞者一覧 (<http://award.wab.ne.jp/>)

【Web 人大賞】

橋本 誠一 (はしもと せいいち) 氏
(キリン株式会社 取締役常務執行役員 CSV 本部長)

(受賞理由)

企業価値の創出にあたり従来のマーケティング手法に加え、デジタルでのブランディング、コミュニケーションが必須になったことに対し、多くの企業では旧来の組織のままでは厳しいと感じている中で、取締役CMOとして「ブランドを基軸とした経営」を推進し、率先して大幅な組織改革を行いながら、お客様との長期的な関係構築を試行されていることにより今回の受賞となりました。



【Web 人 of the year】

長崎 亘宏 (ながさき のぶひろ) 氏
(株式会社講談社
ライツ・メディアビジネス局 局次長 兼 第一事業局 局次長)

(受賞理由)

2014年8月に発足したJIAA(当時、一般社団法人インターネット広告推進協議会、現、一般社団法人日本インタラクティブ広告協会)のネイティブアド研究会の座長として、2015年3月に公表された「ネイティブ広告に関するガイドライン」策定に尽力されました。

このJIAAのネイティブ広告に関するガイドラインの発表をきっかけに、その定義づけとともに、従来はグレーゾーンとして曖昧に処理されがちだった記事広告のノンクレジット問題やステルスマーケティングにおける倫理的な境界線が明確になり、ルール違反をした企業に対する、問題提起や議論が非常にスムーズに進むようになった功績を讃え、今回の受賞となりました。



【Web 人賞】

植木 真 (うえき まこと) 氏
(株式会社インフォアクシア 代表取締役)

(受賞理由)

植木氏は、高齢者・障がい者を含む全ての人がウェブを利用できるようにするためのウェブアクセシビリティに関して長く尽力されています。コンサルタントとして活動しながら、今年度は東京のみならず仙台・大阪・高松・岡山など各地でウェブアクセシビリティに関するセミナーも開催しています。

また、「ウェブアクセシビリティ基盤委員会」の委員長として、JIS規格「JIS X 8341-3」の普及に向けた取り組みや関連情報を発信する会を継続的に率いています。すでに幅広く社会にとって重要なインフラとなっているウェブを多くの人にとって利用しやすいものとする、これまでの継続的な取り組みを評価し、2015年度中に予定されているJIS X 8341-3改正にあわせて今回の受賞となりました。



【資料 2】

Web 広告研究会 について

Web 広告研究会は、1999年4月、(社)日本広告主協会デジタルメディア委員会内の研究会を母体として発足しました。(注:日本広告主協会は現在、日本アドバタイザーズ協会に名称変更)業界の枠を超えてWeb 広告・マーケティングに取り組む全てのプレイヤーによる研究活動を行う場として、インターネット上の広告展開における様々な課題について、広告主と関連企業・団体(広告会社、メディアレップ、媒体社、調査会社、システム提供会社など)が共通の場で研究活動を行うことにより、インターネット上の広告の健全な発展を促進することを目的としています。

定期的なフォーラム・セミナーの開催のほか、各種広告手法の効果実証実験、企業サイトのプロデュースの研究とその評価、個人情報保護問題への取り組み、ブロードバンド・モバイル環境の研究、生活者のメディア接触変化の研究などの幅広い活動を10の委員会と5つのプロジェクトで行っております。

構成は以下のとおり

<委員会>

- ・コーポレートブランド委員会
- ・モバイル委員会
- ・メディア委員会
- ・ネット・プロモーション委員会
- ・ソーシャルメディア委員会
- ・調査委員会
- ・サイトマネジメント委員会
- ・West Web マーケティング委員会
- ・Big Data 研究委員会
- ・動画活用委員会

<プロジェクト>

- ・Web グランプリプロジェクト
- ・Web プロデューサー育成プロジェクト
- ・PR プロジェクト
- ・東日本大震災・被災地支援プロジェクト
- ・セミナープロジェクト

- 会員社(2015年10月31日現在)392社
- 代表幹事代行 増井 達巳(合同会社フォース)
- 事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座 3-10-7 銀座東和ビル8階
- ホームページ <http://www.wab.ne.jp/>